



国際探究Ⅰ テーマ検討会

7月16日(木)、2年国際英語科では、国際探究Ⅰのテーマ検討会を行いました。SDGsの17項目の目標から研究テーマを設定し、更にこのテーマの元、各研究グループでテーマを絞って研究を進めます。

今年度からは、琉球大学の各先生方にアドバイザーとして協力していただき、指導助言をもらうことになっています。

今回の研究は、下記の8項目に関する内容です。

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 8 働きがいも経済成長も
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

例えば、「飢餓をなくそう」の項目においては

- ① 子供食堂の位置づけ
- ② 貧困による学習支援の学力向上について
- ③ 月4,000円で南スーダンの子供の貧困を救う
- ④ 沖縄の貧困と非行

の4つのテーマに分かれて研究を進めます。上記の項目それぞれ3つから5つに分かれ、計32のグループに分かれて研究していきます。

最後の成果発表会がとても楽しみです。皆さん、最後まで頑張ってください。

SDGsとは？

「SDGs (エスディージーズ)」とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。これは、2030年までに達成するべきものとなっています。



六諭衍義 程順則(名護親方)

琉球久米村の程順則(名護親方)が1704年、四度目の中国行き(冊封使渡来)の際に、自費で木版印刷させ琉球へ持ち帰りました。

およそ400年前に中国で出版された「六諭衍義」は、親孝行することや年上の人を敬うようにといった六つの教えを、人々に分かりやすく解説した道德書(儒教の教え)です。後に薩摩藩島津氏を通じて1719年に江戸幕府の第八代将軍徳川吉宗がに献上され、寺子屋などで日本国中に広まったと言うことです。

一方程順則は、久米村で明倫堂(沖縄で最初の公立学校)を建て、六諭の教えを広めたそうです。程順則はこの六諭の教えを多くの人に広めようと「八・八・八・六」の琉歌に詠み、いろは順に並べました。こうして出来上がったのが「琉球いろは歌」です。

全部で47の歌がありますが、その一部を紹介していきたいと思います。



りくゆえんぎ

■「六諭衍義」の教え■

- 一、孝順父母(父母を大切にしましょう)
- 二、尊敬長上(年上の人を尊敬しましょう)
- 三、和睦郷里(ふるさとを愛し、みんなと仲良くしましょう)
- 四、教訓子孫(子や孫を教え導きましょう)
- 五、各安生理(自分の運命に従いましょう)
- 六、母作非為(悪いことはやめましょう)

琉球いろは歌

ふいた なら すぐ
下手からどう習てい 秀りいんしゆる
 うゆ うむ しあん
及ばらんとう思てい 思案すんな

下手であるということは、上達するための必須条件、下手であることを認識すればこそ、鍛錬を続けられるものです。

器用な人が鼻歌交じりに上手に仕上げた作品より、不器用な人が苦勞して作り上げた作品のほうが心を打つものです。

「好きこそ物の上手なれ」好きなことを続けることとは素直に生きること、そして本当に上手になったときは「下手の横好きです」と、謙遜な心も忘れずに。